

# 四半期報告書

(第1期第2四半期)

自 平成21年7月1日

至 平成21年9月30日

アサヒホールディングス株式会社

神戸市中央区加納町四丁目4番17号

(E21187)

# 目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報 .....	1
第1 企業の概況 .....	1
1 主要な経営指標等の推移 .....	1
2 事業の内容 .....	2
3 関係会社の状況 .....	2
4 従業員の状況 .....	2
第2 事業の状況 .....	3
1 生産、受注及び販売の状況 .....	3
2 事業等のリスク .....	3
3 経営上の重要な契約等 .....	3
4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 .....	4
第3 設備の状況 .....	5
第4 提出会社の状況 .....	6
1 株式等の状況 .....	6
(1) 株式の総数等 .....	6
(2) 新株予約権等の状況 .....	6
(3) ライツプランの内容 .....	6
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移 .....	6
(5) 大株主の状況 .....	7
(6) 議決権の状況 .....	7
2 株価の推移 .....	8
3 役員の状況 .....	8
第5 経理の状況 .....	9
1 四半期連結財務諸表 .....	10
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	10
(2) 四半期連結損益計算書 .....	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	14
2 その他 .....	20
第二部 提出会社の保証会社等の情報 .....	21

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成21年11月13日
【四半期会計期間】	第1期第2四半期（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）
【会社名】	アサヒホールディングス株式会社
【英訳名】	Asahi Holdings, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 寺山 満春
【本店の所在の場所】	神戸市中央区加納町四丁目4番17号
【電話番号】	078（333）5633
【事務連絡者氏名】	総務部長 塩浦 俊信
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内一丁目7番12号
【電話番号】	03（6270）1833
【事務連絡者氏名】	取締役 財務担当 田辺 幸夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第1期 第2四半期連結 累計期間	第1期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日
売上高（百万円）	35,856	17,286
経常利益（百万円）	2,691	1,692
四半期純利益（百万円）	1,566	974
純資産額（百万円）	—	28,038
総資産額（百万円）	—	44,526
1株当たり純資産額（円）	—	870.33
1株当たり四半期純利益金額 （円）	48.63	30.26
潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益金額（円）	—	—
自己資本比率（%）	—	63.0
営業活動による キャッシュ・フロー（百万円）	4,300	—
投資活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△1,219	—
財務活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△2,415	—
現金及び現金同等物の四半期末残 高（百万円）	—	2,516
従業員数（人）	—	1,155

- （注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 当社は平成21年4月1日設立のため、前第2四半期連結累計（会計）期間及び前連結会計年度に係る記載はしておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	1,155（161）
---------	------------

(注) 従業員数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であり、臨時雇用者数は（ ）内に当第2四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。なお、臨時雇用者には、パートタイマー及び一部の嘱託契約の雇用者を含み、派遣社員は除いております。

### (2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	16
---------	----

(注) 従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人員であります。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

当社は平成21年4月1日設立のため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。（以下「4. 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」においても同じ。）

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額（百万円）
貴金属リサイクル事業	12,802
環境保全事業	2,900
合計	15,703

(注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注状況

当社グループは回収量に応じて生産を行っているため、該当事項はありません。

#### (3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額（百万円）
貴金属リサイクル事業	14,347
環境保全事業	2,938
合計	17,286

(注) 1. 当第2四半期連結会計期間の主要な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額（百万円）	割合（%）
住友金属鉱山(株)	1,627	9.4
田中貴金属工業(株)	1,511	8.7

2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

### 2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

なお、当社は平成21年4月1日にアサヒプリテック株式会社とジャパンウェスト株式会社の共同株式移転により設立されました。アサヒプリテック株式会社が前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

#### 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日（平成21年11月13日）現在において当社グループが判断したものであります。

##### (1) 業績の状況

当第2四半期（平成21年7月1日～平成21年9月30日）におけるわが国経済は、昨年半ばからの世界的な不況も底を打ち、生産や輸出にゆるやかな回復の兆しが見えてきたものの、雇用情勢や内需などの本格的な回復には至りませんでした。

このような経済状況のもと、当社グループは当連結会計年度から持株会社制へ移行し、新たにアサヒホールディングスグループとして、「V11～変革と創造を進めよう～」をスローガンに第5次中期経営計画（平成21年4月～平成24年3月）のもと、収益力の安定と継続的成長を図るべく、事業領域ごとに顧客ニーズをより一層的確にとらえるとともにコスト削減に努めてまいりました。

当第2四半期連結会計期間の売上高は17,286百万円、営業利益は1,669百万円、経常利益は1,692百万円、四半期純利益は974百万円となりました。なお、平成23年3月期から強制適用される、棚卸資産の評価方法に関する新会計基準を当期より早期適用し、後入先出法から総平均法に変更しています。この変更により、当第2四半期連結会計期間の営業利益は296百万円減少しています。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

##### ①貴金属リサイクル事業

貴金属リサイクル事業領域において、製造業の一部で持ち直しの兆しがあるものの、依然として予断をゆるさない不安定な経済環境を反映し各金属の回収量は前年同期を下回りました。また、金属平均販売単価についても、前年8月から下落した市場価格が今年に入り回復基調で推移したものの、期間平均で前年同期の水準を下回りました。この結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は14,347百万円、営業利益は1,952百万円となりました。

##### ②環境保全事業

環境保全事業領域において、景気の低迷により、廃試薬・廃油・廃液・汚泥の取扱量は前年同期を下回りました。なお、平成20年10月に完全子会社化した富士炉材株式会社の業績は引き続き堅調で、環境保全事業の業績に寄与しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は2,938百万円、営業利益は398百万円となりました。

##### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第1四半期連結会計期間末より507百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には2,516百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結会計期間において営業活動の結果得られた資金は1,692百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益1,671百万円、減価償却費533百万円、たな卸資産の増加及び法人税等の還付によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は678百万円となりました。

これは主に、韓国アサヒプリテック株式会社における工場建設等の有形固定資産取得による支出573百万円によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は515百万円となりました。

これは主に、借入金の純減少額503百万円によるものであります。

##### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

##### (4) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、80百万円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	129,000,000
計	129,000,000

##### ②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	36,254,344	36,254,344	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	36,254,344	36,254,344	—	—

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日	—	36,254,344	—	4,480	—	6,054

## (5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
アサヒプリテック㈱	兵庫県神戸市東灘区魚崎浜町21番地	4,038	11.14
寺山 満春	兵庫県芦屋市	1,452	4.01
寺山 正道	兵庫県芦屋市	1,402	3.87
㈱テラエンタープライズ	兵庫県西宮市深谷町12-39	1,350	3.72
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	1,252	3.45
㈱K&M	兵庫県西宮市深谷町12-39	900	2.48
日本マスタートラスト信託銀行㈱(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	777	2.15
ザ・バンク・オブ・ニューヨーク 132561 (常任代理人 ㈱みずほコーポ レート銀行決済営業部)	ONE WALL STREET NEW YORK NY 10286 UNITED STATES OF AMERICA (東京都中央区月島4丁目16-13)	725	2.00
花井 幸子	神戸市東灘区	645	1.78
満園 順一	神戸市東灘区	638	1.76
計	—	13,182	36.36

(注) 1. アサヒプリテック㈱は当社の完全子会社であります。

2. 日本トラスティ・サービス信託銀行㈱、日本マスタートラスト信託銀行㈱の所有株式数は、全て信託業務に係る株式数であります。

## (6) 【議決権の状況】

## ① 【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(相互保有株式) 普通株式 4,038,700	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 32,120,400	321,204	—
単元未満株式	普通株式 95,244	—	—
発行済株式総数	36,254,344	—	—
総株主の議決権	—	321,204	—

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式および相互保有株式が次のとおり含まれております。

自己株式	50株
相互保有株式	アサヒプリテック㈱ 67株

## ②【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(相互保有株式) アサヒブリテック 株	神戸市東灘区魚崎 浜町21番地	4,038,700	—	4,038,700	11.14
計	—	4,038,700	—	4,038,700	11.14

## 2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	1,469	1,843	1,873	1,830	1,819	1,755
最低(円)	1,223	1,357	1,556	1,605	1,590	1,506

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

## 3【役員の様況】

平成21年4月1日の当社設立後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の様動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

(1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

(2) 当社は平成21年4月1日設立のため、前第2四半期連結会計期間及び前第2四半期連結累計期間並びに前連結会計年度末に係る記載はしていません。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末  
 (平成21年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,516
受取手形及び売掛金	4,259
商品及び製品	3,028
仕掛品	6,584
原材料及び貯蔵品	62
その他	825
貸倒引当金	△8
流動資産合計	17,267
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	8,877
土地	11,498
その他（純額）	4,119
有形固定資産合計	※1 24,495
無形固定資産	
のれん	※3 1,603
その他	610
無形固定資産合計	2,213
投資その他の資産	※2 549
固定資産合計	27,258
資産合計	44,526
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	2,140
短期借入金	11,700
1年内返済予定の長期借入金	3
未払法人税等	165
賞与引当金	649
修繕引当金	49
その他	1,418
流動負債合計	16,126
固定負債	
退職給付引当金	200
その他	160
固定負債合計	360
負債合計	16,487

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成21年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	4,480
資本剰余金	4,510
利益剰余金	24,982
自己株式	△5,920
株主資本合計	28,052
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	7
繰延ヘッジ損益	△1
為替換算調整勘定	△20
評価・換算差額等合計	△14
純資産合計	28,038
負債純資産合計	44,526

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成21年4月1日  
至 平成21年9月30日)

売上高	35,856
売上原価	31,087
売上総利益	4,768
販売費及び一般管理費	※ 2,045
営業利益	2,722
営業外収益	
受取利息	2
受取配当金	0
負ののれん償却額	1
為替差益	15
還付加算金	13
その他	19
営業外収益合計	53
営業外費用	
支払利息	29
創立費	31
その他	24
営業外費用合計	85
経常利益	2,691
特別利益	
固定資産売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
固定資産除却損	14
固定資産売却損	0
減損損失	7
特別損失合計	23
税金等調整前四半期純利益	2,668
法人税、住民税及び事業税	140
法人税等調整額	961
法人税等合計	1,101
四半期純利益	1,566

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間  
(自 平成21年7月1日  
至 平成21年9月30日)

売上高	17,286
売上原価	14,597
売上総利益	2,688
販売費及び一般管理費	※ 1,018
営業利益	1,669
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	0
負ののれん償却額	0
為替差益	33
還付加算金	13
その他	4
営業外収益合計	54
営業外費用	
支払利息	12
その他	18
営業外費用合計	31
経常利益	1,692
特別利益	
固定資産売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
固定資産除却損	13
固定資産売却損	0
減損損失	7
特別損失合計	21
税金等調整前四半期純利益	1,671
法人税、住民税及び事業税	88
法人税等調整額	608
法人税等合計	697
四半期純利益	974

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自 平成21年4月1日  
 至 平成21年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,668
減価償却費	1,049
減損損失	7
のれん償却額	110
負ののれん償却額	△1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	47
受取利息及び受取配当金	△3
支払利息	29
固定資産除売却損益 (△は益)	14
売上債権の増減額 (△は増加)	151
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△556
仕入債務の増減額 (△は減少)	631
未払金の増減額 (△は減少)	△611
その他	451
小計	3,988
利息及び配当金の受取額	3
利息の支払額	△29
法人税等の支払額	△123
法人税等の還付額	460
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	
差入保証金の回収による収入	6
有形固定資産の取得による支出	△696
有形固定資産の売却による収入	4
無形固定資産の取得による支出	△437
関係会社株式の取得による支出	△45
子会社株式の取得による支出	△8
その他	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,219
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,600
長期借入金の返済による支出	△7
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△802
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,415
現金及び現金同等物に係る換算差額	27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	691
現金及び現金同等物の期首残高	1,824
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,516

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
会計処理基準に関する事項の変更	<p>棚卸資産の評価に関する会計基準の適用</p> <p>「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成20年9月26日)が平成22年3月31日以前に開始する連結会計年度から適用できることになったことに伴い、当第2四半期の四半期報告書において、第1四半期連結会計期間から当会計基準を適用し、棚卸資産の評価方法を後入先出法から総平均法に変更しております。</p> <p>この結果、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ296百万円減少しております。</p> <p>また、棚卸資産の評価方法変更による原価計算システムの構築が第1四半期末には完了していなかったため、第1四半期連結会計期間末における棚卸資産の評価方法は後入先出法を適用しております。第1四半期連結累計期間において、棚卸資産の評価方法の変更が行われた場合、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ162百万円減少いたします。</p> <p>なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。</p>

【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	<p>法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。</p> <p>繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、当期首以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、当期首において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。</p>

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	
※1. 有形固定資産の減価償却累計額	15,333百万円
※2. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産	5百万円
※3. のれん及び負ののれんの表示 のれん及び負ののれんは、相殺表示しております。 相殺前の金額は次のとおりであります。	
のれん	1,605百万円
負ののれん	1
差引額	1,603

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、 次のとおりであります。	
役員報酬	56百万円
給料手当	647
賞与	17
賞与引当金繰入額	150
退職給付費用	7
研究開発費	160
減価償却費	129
のれん償却額	107

当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、 次のとおりであります。	
役員報酬	28百万円
給料手当	323
賞与	0
賞与引当金繰入額	88
退職給付費用	3
研究開発費	80
減価償却費	70
のれん償却額	53

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在)	
現金及び預金勘定	2,516百万円
現金及び現金同等物	2,516

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 36,254千株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 4,038千株

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

当社は平成21年4月1日にアサヒプリテック株式会社とジャパンウェイト株式会社の共同株式移転により設立されました。下記の配当金支払額は、連結子会社アサヒプリテック株式会社の取締役会において決議された金額です。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年5月12日 取締役会	普通株式	805	25.00	平成21年3月31日	平成21年5月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間  
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年11月13日 取締役会	普通株式	906	25.00	平成21年9月30日	平成21年11月30日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

	貴金属リサイクル事業 (百万円)	環境保全事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	14,347	2,938	17,286	—	17,286
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,347	2,938	17,286	—	17,286
営業利益	1,952	398	2,351	( 681)	1,669

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	貴金属リサイクル事業 (百万円)	環境保全事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	30,060	5,795	35,856	—	35,856
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	30,060	5,795	35,856	—	35,856
営業利益	3,466	606	4,072	( 1,350)	2,722

(注) 1. 製品（商品及び役務を含む）の種類、性質の類似性を考慮し事業区分を行っております。

2. 各事業の内容

(1) 貴金属リサイクル事業：主として貴金属原材料の回収・再生・加工・販売及び貴金属回収装置の製造・販売・賃貸

(2) 環境保全事業：主として産業廃棄物の無害化処理

3. 会計処理の方法の変更

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載のとおり、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成20年9月26日）が平成22年3月31日以前に開始する連結会計年度から適用できることになったことに伴い、当第2四半期の四半期報告書において、第1四半期連結会計期間から当会計基準を適用し、棚卸資産の評価方法を後入先出法から総平均法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合と比較して、貴金属リサイクル事業について、当第2四半期連結累計期間の営業利益が297百万円減少しております。また、環境保全事業について、営業利益に与える影響は軽微であります。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(有価証券関係)

有価証券につきましては、企業集団の事業の運営において重要なものではないため記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	
1株当たり純資産額	870.33円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 48.63円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 30.26円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	1,566	974
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	1,566	974
期中平均株式数(千株)	32,215	32,215

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

該当事項はありません。

2【その他】

(剰余金の配当)

平成21年11月13日開催の取締役会において、平成21年9月30日を基準日として、剰余金の配当(中間)を行うことを次のとおり決議いたしました。

- ① 配当金の総額 906百万円
- ② 1株当たり配当額 1株当たり25円
- ③ 効力発生日 平成21年11月30日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月13日

アサヒホールディングス株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 千葉 彰 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 竹野 俊成 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 垂井 健 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアサヒホールディングス株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的な手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アサヒホールディングス株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。